(4)

、日本協同組合学会元会長 橋大学名誉教授

2015年8月15日

日

给臣 70

さを発見し、そこに確信を持つまでの苦悩などをお聞きしました。 (本紙 本田真智子) 会長・一橋大学名誉教授・協同総合研究所顧問)。戦後、学校の先生の言うことや世の中の考え方が180度変わり、人が 信用できなくなり、自分探しの旅へ。そして、人のために創造的な仕事をすること、労働を自分のものにすることの大切 協同組合の研究者であり、協同労働という働き方に平和な社会づくりの基礎を見る富沢賢治さん(日本協同組合学会元

爆撃から守ってくれた祖母の姿が

川遊び中、機銃掃射にあい草むらに逃げ

浜松の母の実家に疎開 私は、1936年(昭和 お生まれは何年です

学4年生、9歳。 与野(現さいたま市)で生 まれました。敗戦の時は小 11年) 1月26日、埼玉県の 家族は、父、母、兄の4

威の時に予科練 (海軍飛行 八。7つ上だった兄は、15

労

本

練はみんなの憧れだった 風呂に一緒に入った時、お から、うちに帰ってきてお 行ってしまいました。予科 予科練習生)に志願して いなもので年中叩かれる 注入棒というバットみた 尻が真っ青だったのを覚 のです。しかし、海軍精神

えています。 め、方々転勤しました。私 父は国鉄 (現JR) に勤

まったくありません。 は、生まれた与野の記憶は

母の家に暮らしました。 から4年生の夏まで、祖父 けるために都会の子ども 母の実家の静岡県浜松市 した。私は、国民学校(現、 疎開)と縁故疎開がありま 小学校)の1年生の時に、 た。集団疎開(学校ごとの たちは地方に移住しまし に縁故疎開をして、1年生

くれました。おばあちゃん 私をすごくかわいがって の末っ子のような感じで、 違わなかった。祖母は自分 番下の子と私が3つしか

> 日本軍の施設があった 空襲にあったことは?

室の中での記憶がないこ 入ってから敗戦までの、教 て。子どもは自然の中で過 たんに健康になっちゃっ ですが、田舎に行ったらと ていて、すごく弱かったの こした方がいいですね。 不思議なのは、学校に

戦争中はどこで?

には子どもが7人いて、一 おばあちゃん子」。祖母 私は、祖母に育てられた 浜松は、米軍のターゲット のひとつでした。米軍の航

とです。九九やイロハも、

ちゃんと習ったのでしょ

植えは、ヒルがいたのと、 掃除がいやでしたね。ま 屈んでやるので腰が痛く た、農作業もしました。田 いました。糞尿の中に足を ます。学校では豚を飼って なった記憶があります。 つっこんでする豚小屋の 教室の外の記憶はあり

年間ぐらいは、話し言葉が なると、いじめがなくなり た。同じ方言を話すように 違うので、いじめられまし

逃げ惑うのが日常

小さい頃、病気ばかりし 中に逃げ込みました。 空母艦が近くまで来て、そ 落とすので、よく防空壕の 飛ばします。近所に爆弾を こから飛行機をどんどん 爆弾が落ちてくると、祖

母は、自分の子どもたちで 全身でカバーしてくれま はなく、孫の私を抱きかか

ものを食べることに罪悪

た。私は神を追い求め、教

当時の様子を話す富沢さん(労協連本部で)

牲にして人を守る人がい した。それが私の人生観を

ち中ではなくて、田舎の方 銃掃射を します。 飛行機の にあったのですが、そこま 上から人が見えるから、 で艦載機が飛んで来て、機 祖父母の家は浜松のま

るのだ、と。 狙って撃ちます。

浜松に移った当初の半

て自然に震えてきちゃう 3、4年間は、飛行機の音 が聞こえると、体が反応し んです。今は、平和な時代 戦争が終わってからも

そばの草むらに逃げ込み ぬかと思いました。 ました。あの時は、もう死 ました。裏の川で泳いでい の顔は私から見えっこな うな顔を見たように感じ りました。飛行機の狙撃兵 いのですが、なにか鬼のよ に時にも機銃掃射があり、 私も狙われて、逃げまわ

で、谷中の官舎に入りまし 父が国鉄勤めだったの

た。そこに何家族も、何人

えてもなんでもないのです が、昔は本当に怖かった。 だから飛行機の音が聞こ

玉音放送は覚えていま

谷中にいたのは半年く

光景が鮮明に目に刻み込 のが、日常でした。死んで る、逃げ惑っているという り、一方的にやられてい いている人。今でも、その いる人、足がちぎれてうめ 私たちは、戦うというよ

片脚失い戻った兄は戦争

墓地前で人をおどかし

がないのが一番困りまし の小学校に入りました。 秋には東京に戻り、日暮里 争が終わってすぐでした。 焼け野原で、水と食べ物 戦後の暮らしは? 母が迎えにきたのは、戦

ます 楽しんだことを覚えてい

てからでした。 実感したのは、毎日のよう にあった爆撃がなくなっ ません。戦争が終わったと と遊んでいたのかもしれ せん。夏休みで、悪童ども なった、という日々が続い た、飛行機が飛んでこなく なりましたね。 ともかく気持ちが楽に

> てきた兄も一緒に住みま 長屋に入り、軍隊から戻っ

埼玉県の大宮に移りまし らい。5年生になる春に、

た。その時は、国鉄官舎の

働きましたが、障がい者な

てきました。すぐ写真店で

兄は、片脚になって帰っ

の話しなかった

も同居して、いろんな人が 出入りしていました。

屋の娘と結婚しました。し

わり、最後には岡山の染物 けません。何度か仕事を変 のでフルにはなかなか働

そういういたずらをして のあまり「うわ~っ」と を多く見ているので、恐怖 言って逃げていきました。 た。ほとんどの人は、死人 いたりして、驚かしまし が通ると、とつぜん木を叩 家があったので、夜中に人 谷中の墓地の前に我が かず、すごい苦労をしたあ はないでしょうか。 ら、話したくなかったので せんでした。嫌な経験だか かし、その生活もうまくい した。兄は戦争の話をしま げく、60歳代で亡くなりま

たのではないでしょうか。 たら、兄も違う人生を歩め すごく悲しいです。 いのですが、戦争がなかっ 今更言っても仕方がな

人の言うこと180度反対になり自分失う

抱えていた問題は私だけのものではなかった

がないというのは? 人を信用できなくなり 戦争中、教室の中の記憶

え、戦争が終わると「戦争 戦争に行きなさい」と教 からかもしれません。 で教えられていたことが、 覚えていないのは、それま なりなさい、お国のために 180度ひっくり返った 戦争中は、「いい兵隊に 教室で何を学んだのか ちも悪かった。先生なんか

は悪い」と、同じ先生が も、先生が生徒を殴るのは から、二部制で校庭などで 塗って使う。教室も少ない 都合の悪いところを墨で がないから、前の教科書の も教えていました。 言ったら、おかしく感じる しばらく続きました。私た 民主主義教育になって 教科書だって新しいの 中の考え方も180度変 デンティティ欠如の状態 ち位置が分からない、アイ 分からなくなりました。 分自身に対しても自分が ものが分からなくなり、自 なくなりました。人という わって、私は人を信用でき でした。一番ひどい時は、 分に自信がなく、自分の立 中学、高校、大学時代、自 先生の言うことも世の

いろ悪さをしました。 信用していないので、いろ 感があり、身体も精神もお きりさせたいと思いまし 強く持っていました。 からない。太宰治の『人間 失格』などに同感していま が何者か分からないから、 神と自分との関係をはっ ション・スクールに行き、 したね。生き残っていて申 かしくなりました。 人と何を話していいか分 し訳ない、そういう感覚を 中学、高校、大学とミッ 人と会うのが怖い。自分

ているうちに、国際基督教

しました。

これはいかんなと思っ

大学の卒業論文を指導し

てくれた先生に呼ばれて、

日

先生になりました。しか

大学を卒業して、高校の

当時、私は国際基督教大学

1960年の安保闘争

わけですから、ろくな先生

、自分がはっきりしない

にはなれません。

会をいくつも転々としま

論文が評価され変わる

いので、洗礼は受けません した。しかし、納得できな

-なぜマルクスを?

本 労 新 協

空襲後の浜松

る。それこそがワーカーズ

働を自分の労働にするた

カーズコープの活動では

と言う人もいるので、よけ いるためにはクリスチャ ンになったほうがいいよ きりしません。この大学に けれども、まだ自分がはっ 本格的に自分探しの旅を い反発したりしました。 なければと、当時はやりの 入学の助手になりました。 した。自分なりに考え直さ しようと大学院に入りま 職場にいづらくなるし、 は? ろこが落ちたという感じ 稿』まで読むと、目からう 仲間と協力し働くことでよい社会が 「労働の社会化」論と

命を賭けた仕事に

労働が自分のものとなって 外は、自己疎外、人間疎外 ういう意味を持っているの 失われてしまいます。 とつながります。つまり ます。そして、この労働疎 ではなくて資本家のもの ること、労働が自分のもの れ、人間としての生き方も いないと、自分自身も失わ が疎外されていると言い になっていることを、労働 家の意思のもとで労働す かという問題を考えたい 人間にとって、労働がど そのようなプロセスを

ス主義があったので、それ の基本的な思想にマルク み始め、『経済学・哲学草 だめだと考えて、勉強しだ をきちんと理解しないと の助手でしたが、この闘争 初期のマルクスから読 思っていましたが、そうで もないと理解したのは、そ 係があったかということ キリスト教とどういう関 は、自分だけのものかと 経済思想史学会に認めら を調べて論文に書いたら、 ていましたが、マルクスが 私がかかえていた問題

がしました。『経済学・哲学 草稿』が、私の考え方の整 スト教の論文を多く書い 理に大きく役立ちました。 私は大学院生の頃、キリ う評価するかが分かると、 ながってきます。そして、自 その人と自分との関係がつ となのかと、すこし見えて やるべき仕事はこういうこ

の時です。自分の仕事が社 をして、その仕事を人がど きました。自分が何か仕事 会に評価されると、自分が

という仕事が必要だとい は人のために何かを創る はつきりしてくるのです。 分のアイデンティティが 自分を取り戻すために

うことが、分かってきまし

戦争を起こすような流

らです。

戦争は人間をおかしく

ルするくらいの力をつ

そういう状態に追い込ま

れたのは、戦争があったか

後の私の研究課題になり 的に追究することが、その 大切かということを学問 するということがいかに のために創造的な仕事を 自分のために、また、人

書房、1974年)です。 の社会化」論』(ミネルヴァ ルクス・レーニンの「労働 たものが私の博士論文『唯 その研究成果をまとめ

分の立ち位置が分かり、自 物史観と労働運動-

労働を自分のものにする実践と出会う

て労働することによって、 間の社会化が進み、よい社 めには、多くの場合、仲間 の協力が必要です。協同し へとのよい関係ができ、人

労働を自分のものにす 間社会をつくっていくた と、ワーカーズコープは人 理事長・故人)たちと出会 る中西五洲さん(労協連元 福祉事業団」の組織者であ 4年頃に、「中高年雇用・ 状を勉強していた198 カーズコープの歴史と現 めの一番大切な組織です。 働の社会化」論からする 社会化」の理論です。「労 明らかにするのが「労働の 私がイギリスのワー

うか」と言って、納得して 全国総会がワーカーズ 86年には「中高年雇用・ くださったようです。19 福祉事業団全国協議会」の

定しました。 コープ組織への発展を決

こうして、私の研究して けた仕事となったのです。

絶対に戦争をしてはならないからこそ

やっている事業団の活動 功させました。 5月31日の集団的自衛権 では呼びかけ人となって、 反対1万人埼玉集会を成 して活動しています。最近 している私の中では、第2 「九条の会」などに参加 いまだに生き恥をさら

も参加していますよね? 営利企業だけではだめ 「安保法制」反対運動に き残って悪かったなとい の人がいるのに、自分が生

宣言」を採

協同組合憲章実

ないですか」と指摘しまし た。中西さんたちも、「そ きた「労働の社会化」とい う理論が、ワーカーズコー とって人生最大の喜びと プという実践の場を確保 なりました。 実践の結びつきは、私に できたのです。この理論と

究は、私にとって、命を賭 ワーカーズコープの研

提起しています。

なることを期待した。

国連は、2000年と

組合憲章実現運動と、日本 組みを紹介しながら、協同

協同組合連合会の結成を

えずに死んでいった多く

る「国連バ

レニアム 富沢先生が呼びかけ

の撲滅」を第1目標とす た時、「極度の貧困と飢餓 いう人類史の節目に立っ

ません。言いたいことも言 次世界大戦は終わってい として、戦争をしないです ではなくて、根本的な治療 きてきました。戦争に反対 だんと自分なりに理解で ざるを得なかったか、だん ると、なんで日本が戦争せ う思いが強くあります。 するのは、ものすごく大切 大学生になって勉強す

> 根ざす住民の自主的な共 組合などの、地域社会に

員会を設立、協同組合憲

する協同組合憲章検討委

織(日本協同組合連合会)

にまで育てていく必要が

益組織を重視した。

章草

案を策定した。政府

む社会をつくらなければ ません。したがって営利企 ということにもなりかね のかが、すごく大切です。 をどうやってつくっていく です。常に方々で戦争が起 器を作る製造業者にとっ 業だけに経済活動を任せ こってもらわなくは困る。 て戦争は大もうけの手段 なりません。そういう社会 ひとつ例を挙げれば、武 強く日常的にやっていく がんばらないとだめです。 けていく運動が大切です。 戦争は人をおかしく 社会づくりの仕事を根気 動を強化する。その両方で む社会をつくっていく運 れに反対していくととも に、戦争を起こさないです

な、社会問題を解決するた ワーカーズコープのよう 今の時代、感じているこ

ば、それに反対する。これ

がすごく大切です。

戦争を起こさせないた

向かうような動きがあれ

ていきます。だから戦争に 勢力はどんどん巨大化し

が必要です。

放置しておくと、そういう

権力が結びついています。 集団がいるし、それと政治 こさせてはいけません。 するから、絶対に戦争を起

戦争を起こしたい利益

わからないのは、苦しい。 した。自分が自分のことを は戦争です。いやおうなし ものを考えさせられま の自分をつくったの

セクターを拡大強化して、 ます。非営利・協同組織の

のの非営利・協同組織をど

んどんつくる必要があり

国家と営利企業をコント

す。

には、徹底的に反対しま 平和憲法を軽視する勢力 めに憲法九条があります。

富沢先生は、国連の取り

員が

の促進のための担い手と 機会の創出、社会的包摂 協同組合とその組合 貧困の撲滅と就業 との見解を表明した。 る限り後押ししていく」 した助け合い活動がさら に広がっていくようでき 草案が提唱する5原則

会的連帯経済推進委員会 とし、2013年には社 国連は2012年を国 を政府が実質的に認める ように運動を盛り上げる そして、IYC記念全

際協同組合年(IYC)

現、日本協同組合連合会結成を 同組合 会を協 国協議

を解決するために、協同 貧困と飢餓」という問題 持を困難にする「極度の そして、世界平和の維 会を結成。私を委員長と を設置した。 IYC全国実行委員 本の協同組合陣営 として、また非営利・協 同セクターの一つの核と 体のナショナルセンター して機能しうる強力な組 運動全

(『協同の発見』 7月号掲 「協同組合憲章とワー

も草案が提案した5原則 同組合の地域に根差 カーズコープ原則」から)

同組合」という決議を採

に「社会開発における協

のうち3原則を採択し、

国連総会は2001年